

桜づつみ

関川(新南町)
しんなんちょう

モデル事業

川の流れとやすらぎが広がる空間。水辺に新しいスタイルが生まれます。



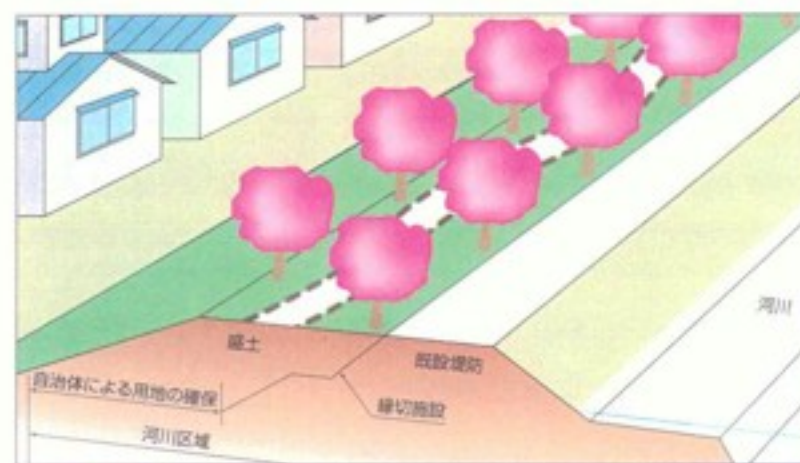
桜づつみの目的

桜づつみとは、良好な水辺空間の形成を図り、併せて堤防の強化や土砂の備蓄等、水防活動に必要な機能等を整備するために設置する堤防側帯そくたいです。



桜づつみモデル事業

河川管理者と市町村が共同して桜づつみを設置する事業です。



桜づつみモデル事業のイメージ図

関川(新南町)桜づつみモデル事業の流れ

平成12年
9月 モデル事業の申請
(河川管理者及び市町村長)

平成13年
4月13日 モデル事業の認定
(国土交通省河川局長)

平成13年
平成15年 モデル事業の実施
(河川管理者及び市町村長)

水辺空間の保全・活用



事業の概要

- 地 先 名/上越市新南町地内(中央橋右岸上流)
- 延 長/約450m
- 盛 土/約22,000m³(国土交通省)
- 張 芝/約9,000m²(//)
- 車輛交換所/1ヶ所(//)
- 桜 植 樹/約130本(上越市)
- 附 帯 施 設/休憩所、ベンチ等(//)
- 用 地/桜づつみは、廃道敷を有効利用します。
- コスト削減/関川改修事業により発生した残土や関川河口に堆積した土砂を使用することで、盛土材の購入が不要となり、コストの削減が図られます。